

全国学力・学習状況調査の結果について

《本校児童の結果概要及び改善の方向》

【小学校国語】

本校の概要

主として「知識」に関する問題 (A)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - 全国平均に比べ、下回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
 - 全国平均に比べ、上回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
 - 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「言語事項」の平均正答率
 - 全国平均に比べ、上回っている。

主として「活用」に関する問題 (B)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
 - 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
 - 全国平均に比べ、下回っている。

今回の調査における課題

《主として知識に関する問題では》

- 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと

《主として活用に関する問題では》

- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むこと
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく読むこと

改善の方向

- 相手や目的に応じて適切に話したり、目標を明確にして要点を簡潔にとらえながら聞いたりする活動の充実

- 目的（何のために、何を知りたいのか、どのような情報が必要なのか）を明確にした上で、全体の構成を把握しながら読む指導の充実
- 自分の考えを明確にするために、必要な叙述を選び、他の部分に書かれている叙述と比べたり、自分の知識や経験、考えなどに関係付けたりしながら自分の考えをまとめていく指導の充実

【小学校算数】

本校の概要

主として「知識」に関する問題 (A)

- 「数と計算」の平均正答率
 - 全国平均に比べ、上回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
 - 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「図形」の平均正答率
 - 全国平均に比べ、上回っている。
- 「数量関係」の平均正答率
 - 全国平均に比べ、上回っている。

主として「活用」に関する問題 (B)

- 「数と計算」の平均正答率
 - 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
 - 全国平均に比べ、上回っている。
- 「図形」の平均正答率
 - 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「数量関係」の平均正答率
 - 全国平均に比べ、上回っている。

今回の調査における課題

《主として知識に関する問題では》

- 180° の角の大きさを理解していること
- 180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めること

《主として活用に関する問題では》

- 示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述すること
- 折り紙の枚数が 100 枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述すること
- 折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断すること

改善の方向

- ▶ 角の大きさの測定において、角の大きさの見当を付けたり、どの角の大きさを測定すればよいのかを捉えることができるようにする指導の充実

- ▶ 数量の関係を見いだして考察し、さらに、その数量の関係がほかの場合でも成り立つことを確かめて、確かめた数量の関係を的確に表現できるようにする指導の充実
- ▶ 日常生活の問題の解決のために、複数の情報を関連付けて論理的に考察し、判断の理由を説明することができるようにする指導の充実
- ▶ 事象を観察して、規則性を見いだし、条件に合う事柄について適切に判断することができるようにする指導の充実

【小学校理科】

本校の概要

- 「物質」の平均正答率
 - 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

- 「エネルギー」の平均正答率
 - 全国平均に比べ、下回っている。

- 「生命」の平均正答率
 - 全国平均に比べ、下回っている。

- 「地球」の平均正答率
 - 全国平均に比べ、下回っている。

今回の調査における課題

- 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できること
- 実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できること

- 電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できること
- 太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できること

- 安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できること
- 人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できること

- 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解していること
- より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できること

改善の方向

- ▶ 既習の内容や生活経験と関係付けて話し合う場を設定し、提示された自然の事物・現象を捉えることができるようにする指導の充実

- ▶ 自らの予想や仮説を基に実験計画を立案し、実験を行う前に、予想が確かめられた場合に得られる実験結果を見通す指導の充実

- ▶ 主体的な問題解決を通して獲得した知識を、日常生活と関係付けて図や模型を用いて考えたり、説明したりする指導の充実

- ▶ 言葉の意味を的確に捉えることができるように実際の自然の事物・現象に適用して説明する場面を設定する指導の充実

【生活習慣や学習環境に関する質問紙調査】

質問紙の回答から見えてきた

《豊平小の子ども》

全国の平均より高かった項目 ○

全国の平均より低かった項目 ■

家の人と学校での出来事について話をしますか。

算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。

理科の授業では、自分の予想を基に観察や実験の計画を立てていますか。

朝食を毎日食べていますか。

家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。

今、社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」などと思いませんか。

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか。

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

算数の授業の内容はよく分かりますか。

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

今住んでいる地域の行事に参加していますか。

地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。



《よさとして》

- 規範意識が高まっている。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」が浸透してきている。
- 家で学習する習慣が付いてきている。
- 家族との会話をよくする。
- 学習に対する興味が高まっている。
- 学習の仕方が身に付いてきている。

課題を解決するために

- 自己有用感を高める指導の充実
- 学校の授業時間以外の学習時間の確保（学校と家庭との連携を密にする）
- 地域や社会に関わる活動の見直し
- 「分かる・できる・楽しい」授業の構築

という姿が見えてきます。